

# Indonesia Weekly

2019年6月17日



(対象期間：2019/6/10～2019/6/14)

## 【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年6月14日)



## 【株式市場】

ラマダン（イスラム教の断食月）明け休暇の直前に発表されたS&Pによる国債格上げを好感した外国人投資家からの資金流入などが見られ、休暇明けの株式市場は大きく上昇して始まりました。格上げや世界的な金利低下を背景にインドネシア債券利回りが大幅低下（価格は上昇）となったことを好感し、不動産株が堅調となりました。セクター別では建設・不動産やインフラ・公益・輸送などが上昇した一方で、鉱業、農業などは下落しました。

2019/5/31*	2019/6/14	変化率
6,209.12	6,250.27	+0.66%

\*ラマダン明け休暇のため3日から休場となっていた株式市場は10日から取引再開となりました。

## 【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年6月14日)



## 【債券市場】

S&Pの格上げ発表を好感してインドネシア10年国債利回りは急低下（価格は上昇）しました。10日に発表された5月の消費者物価指数（CPI）上昇率は、市場予想を上回る前年同月比+3.32%と2018年4月以来の伸びとなりました。ラマダンに伴う食料品価格の上昇が背景となりましたが、インドネシア中央銀行（BI）の目標値（2.5-4.5%）の範囲内であり、BI総裁は、インフレ率は引き続き低水準で抑制されると述べています。

2019/5/31*	2019/6/14	変化幅
7.962	7.681	-0.281

\*ラマダン明け休暇のため3日から休場となっていた債券市場は10日から取引再開となりました。

## 【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年6月14日)



## 【為替市場】

ルピアは対円でやや下落しました。S&Pの格上げを好感し3日の週は堅調となりました。しかし、トランプ米大統領が中国に対する関税引き上げを再び示唆したことや、中東での緊張が高まったことなどを背景にリスク回避的な動きが強まり、ルピアは下落に転じました。13日、スリ・ムルヤニ財務大臣は世界経済の減速に対応するために、BIが金融緩和策に向かう可能性があるとして述べました。20日に政策決定会合が予定されており、為替市場への影響も注目されます。

2019/5/31	2019/6/14	変化率
0.7574	0.7548	-0.34%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。

